



ネイチャーセンターだより

2017年11.12月号

いきもの図鑑 キタキツネ (漢字名：北狐)



参考文献：池田透 (1996)、近藤憲久 (1991)、
今泉忠明 (1994) 更科源蔵・更科光 (1976)

北海道・国後・択捉・サハリンにすむアカギツネの一種(亜種)。森や草地、牧場や畑のまわり、町中などいろいろな場所にすみ、ノネズミやユキウサギ、ヘビなどの小動物、家畜やシカの死体、人の残飯などいろんなものを食べる。朝夕の薄暗い時間帯によく活動するが、春国岱では、昼間でも食べ物を探す姿が見られ、魚などもよく食べている。また砂浜に、一直線状に並んだ足跡を見ることもある。メスは地面に掘った巣穴で4月頃出産、5月頃から子ギツネと一緒に穴の外に出てくるようになる。6～8月、子ギツネは自分で餌をとれるようになっていき、石や木の棒で遊んだり、人によってくることもある。9～10月、母子がはげしく争う「子別れの儀式」が見られ、子ギツネはひとりだちをして母親のすみかから出て行く。そして単独で厳しい冬を過ごす。アイヌの人たちはチロンノブ(わたしたちが・どっさり殺す・もの=えもの)と呼び、毛皮を利用したり、頭骨を祭って守り神としたり占いに使ったりした。

【春国岱・風蓮湖】

秋が深まると、多くのオオハクチョウやカモたちが風蓮湖に集まり、にぎやかです。ヒドリガモやオナガガモ、ウミアイサ、ホオジロガモ、スズガモなどのオスは、メスのような地味な羽色だったのが、特徴ある繁殖羽に変わり、識別がしやすくなります。ユキホオジロやハギマシコなどの冬鳥が、ハマニンニクの実を食べに草原にやって来ます。早い年では11月下旬に見られることもあります。



ホオジロガモのオス



ウミアイサのオス

11、12月の見どころ



オニグルミの実を食べるエゾリス



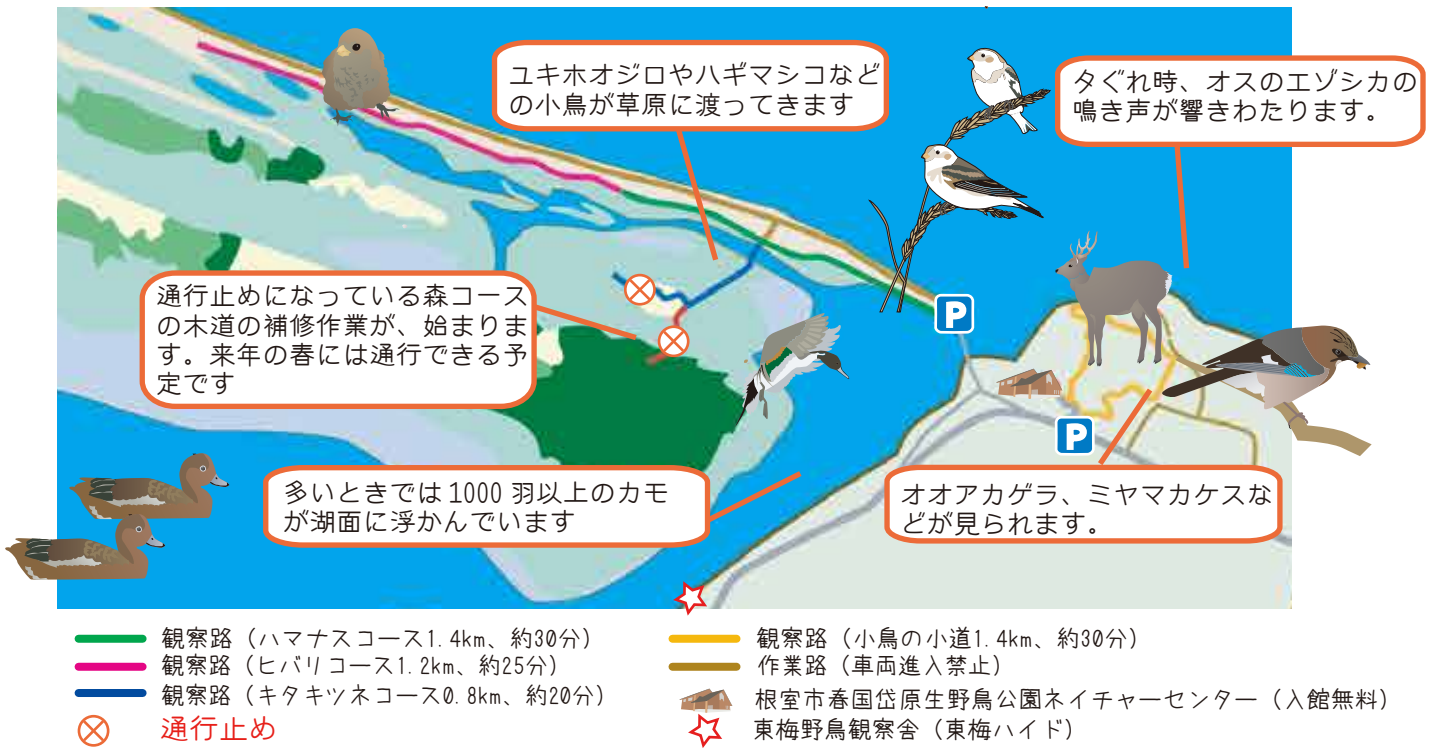
ミヤマカケス

【自然学習林】

木の葉が落ち視界が開けるため、小鳥の観察には、ちょうどよい季節です。夏の間は深い森で過ごしていたオオアカゲラ、ミヤマカケスの姿を見かけることも多くなります。またエゾリスは冬眠をしないため、雪が降る前にオニグルミの実を集めるのに、日中動き回っています。

見どころMAP

冬至の日 (12/22) の日の入り 6:47
日の出 15:45



秋の渡り鳥の初認

ロシアなどで繁殖を終えた鳥たちが渡って来ています



●タヒバリ 9/7 春国岱

9～10月は春国岱でも走古丹周辺でも槍昔でも、湿原や草地の上を10～40羽くらいの群が飛んでいるのをよく目にしました。繁殖地はロシアのシベリア中部からオホーツク海沿岸、カムチャツカ半島までで、本州以南や中国南部、東南アジアで越冬します。

●オオハクチョウ 10/8

白鳥台 (道の駅スワン44) 裏 2羽 (成鳥)

第一トウバイ川河口 2羽 (成鳥) ※来館者の方からいただいた情報をもとに確認しました

●オオワシ 10/20 槍昔から風蓮湖の上空へ成鳥1羽が飛ぶ

10/21 温根沼の岸に成鳥1羽がおりていた。

※いずれも、オオハクチョウ調査中に見つけました

●シロカモメ 9/7 春国岱

●オナガガモ・コガモ 9/7 ●ヒドリガモ 9/8

●コクガン 10/26 白鳥台

●スズガモ 10/9 ●クロガモ 10/14

●ウミアイサ 10/21 いずれも春国岱周辺

オオハクチョウ調査速報



毎年実施している風蓮湖と温根沼のオオハクチョウの飛来数調査の第1回めを、10月20日・21日に実施しました。結果は以下のとおりです。

◆合計羽数：634羽（成鳥606羽 幼鳥28羽：幼鳥の割合は4.4%）

- ①温根沼周辺 10/21（温根沼、温根沼大橋周辺の根室湾）209羽
- ②春国岱周辺（春国岱 10/21、白鳥台・第一トウバイ川河口 10/20）359羽
- ③風蓮湖中西部 10/20（走古丹、風蓮川河口、槍昔、別当賀川河口）66羽

今回、大きな群が観察できたのは白鳥台（道の駅スワン44）裏の風蓮湖と温根沼大橋周辺でした。例年、最大数を記録するのは11月中旬なので、今年オオハクチョウが多いか少ないかは、まだなんとも言えません。オオハクチョウ飛来数調査の2～4回めは11月に実施予定です。結果はネイチャーセンターのブログやフェイスブックでお知らせします。

春国岱クイズ

風蓮湖や温根沼でオオハクチョウの群を見かける季節になりました。オオハクチョウはよく、水面を泳ぎながらさかだちして、長い首を水の中につっこんで、何かを食べています。さて何を食べているのでしょうか？

- ① コンブ
- ② モズク
- ③ アマモ



イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ
電話（0153-25-3047）もしくは直接、メール等のご連絡をお願いいたします。



いずれも、お申し込みが必要です

<p>11/5 (日) 9時半～12時</p>	<p>こどりのこみちバードウォッチング 秋 カラ類の混群や、身近な鳥たちを観察します 初心者のかたも歓迎です</p>	<p>対象：バードウォッチングに興味のある小学生～大人 定員：20名 保険代：100円 持ち物：野外で活動できる服装、長靴・筆記用具・あれば双眼鏡</p>
<p>12/10 (日) 13時半～15時</p>	<p>フィールド講座② 「増えるエゾシカに私達はどうか —これまでの管理と対策」 講師：北海道総合研究機構 環境科学研究センター 上野真由美さん</p>	<p>対象：中学生～大人 定員：40名 申込み要 持ち物：筆記用具</p>



ボランティア『スUNK』からのお知らせ 11/12(日) ネイチャーゲーム入門講座 10:00～15:00

五感を使って、自然のおもしろさに気づく手法を身につける講習会です。自然に興味のある方はどなたでも参加できます。
参加費：2000円、対象：18歳以上、持ち物：長靴、昼食、飲み物、雨具、筆記用具、敷物、バンダナ、カイロ、講師：上ノ澤千尋さん(日本シェアリングネイチャー協会公認インストラクター)

募集中!

ボランティア「スUNK」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月末に1回ミーティングを行い、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画しています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のあるかたはご連絡ください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆年会費（保険料）：300円



フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

FB. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆11月休館日：1・6・8・15・22・24・29日

◆12月休館日：6・13・20・25・25・27・29～1月3日まで

開館時間：9:00～16:30

◆団体でご利用の方へ（事前申し込みが必要です、詳しくはお問合せください）

クイズのこたえ 答 ③アマモは浅い海や海水のまざる湖の底に生える植物です。コンブやモズクのような海藻とはちがい花の咲く植物で、海草と呼ばれています。根をかむとうっすらとした甘みがあるのでこの名があります。オオハクチョウはロシアから風蓮湖にたどりついたあと、たくさん生えているアマモをもりもり食べて栄養をつけ、さらに東北地方などへ渡って行くのです。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録